

第6章 必要な能力等とその変化

1. 趣旨と目的

ここでは現在の職業に必要な能力等とその変化について検討する。設問は、必要な能力等に関しては、「現在の職業ではどのような行動や能力が求められますか。下記に関して、現在の職業に特に必要なものをすべてお選びください。（いくつでも）」として、以下より、選択してもらっている（複数選択）。

意欲・やる気 積極性・主体性 前向きな姿勢 熱心さ 粘り強さ 集中力 責任感 信頼
 できること 観察力 注意深さ ミスがないこと 精神的な安定性 ストレスに強いこと
 先見性 計画性 決断力 実行力 指導力・統率力・リーダーシップ 協調性・チームワーク
 思いやり・感受性（人の気持ちがわかること） 素直さ 柔軟性 気配り 人間的な魅力 人
 に好かれること 人当たりの良さ 社交性 生活規律 団体規律

学習力・成長力（必要な知識やスキルを吸収し経験から成長していけること） 数的処理能
 力 コンピュータスキル 機械に強いこと 対人能力 コミュニケーション能力 交渉力
 管理能力・マネジメント能力（人や組織） 顧客目線・相手の立場から考えられること クリ
 エーティブ・独創性 感性・感覚 情報収集能力 調査研究能力 論理的分析力 企画力 説
 明力 説得力 国際感覚 段取りできること 応用力

販売の知識・経験 産業やビジネスの知識・経験 科学や技術の知識・経験 文化や芸術的
 な知識・経験 社会や経済の知識・経験 健康・医療・ケアの知識・経験 法律の知識・経験
 経理の知識・経験 人事労務の知識・経験 建築・土木の知識・経験 保安警備の知識・経験
 セキュリティの知識・経験

手先の器用さ 体力 健康 スタミナ 第一印象 身だしなみ 清潔感 人脈 資金力
 社会常識 マナー その他（具体的に： ）

さらに、続く設問で、「また、最近（ここ5年程度）、重要になっている行動や能力をすべてお選びください。（いくつでも）」として、上記、意欲・やる気 積極性・主体性 から その他（具体的に： ）までの全く同じ項目と、「特にない」という項目から最近重要になっている能力等を聞いている（複数選択）。

2. 全体としての必要な能力等

図表 6-1 に必要な能力等に対する選択の度数とパーセントを示している。「意欲・やる気」や「責任感」、「ミスがないこと」などが高く、さらに「前向きな姿勢」、「積極性・主体性」、

「集中力」、「注意深さ」、「コミュニケーション能力」と続く。「〇〇の知識・経験」という項目は全体として選択数が少ない。これは、選択したのがそれぞれの知識・経験と関連する特定の職業に偏ったためと思われる。また、図表 6-2 には最近（5年程度）重要になっている能力等の選択の度数とパーセントを示した。必要な能力の中で更に最近重要になっている能力という意味合いが強いため、図表 6-1 で示されているよりも全体的に選択率が低くなっているが、ここでも「ミスがないこと」、「意欲・やる気」といった図表 6-1 で割合が多かったものが全体として多くなっているという傾向が見られる他、「コミュニケーション能力」、「学習力・成長力」、「ストレスに強いこと」、「コンピュータスキル」等の重要性がここ最近で高まっていることが読み取れる。

図表6-1 必要な能力等（複数回答、全体で多いもの順、n=26586）

	n	%		n	%		
1	意欲・やる気	19066	71.7	38	人に好かれること	8379	31.5
2	責任感	17600	66.2	39	人間的な魅力	8086	30.4
3	ミスがないこと	17153	64.5	40	先見性	7987	30.0
4	前向きな姿勢	15508	58.3	41	交渉力	7986	30.0
5	積極性・主体性	15211	57.2	42	素直さ	7879	29.6
6	集中力	15131	56.9	43	指導力・統率力・リーダーシップ	7848	29.5
7	注意深さ	14547	54.7	44	顧客目線・相手の立場から考えられること	7646	28.8
8	コミュニケーション能力	13981	52.6	45	説得力	7475	28.1
9	粘り強さ	13780	51.8	46	団体規律	7190	27.0
10	信頼できること	13652	51.4	47	感性・感覚	6663	25.1
11	熱心さ	13286	50.0	48	管理能力・マネジメント能力	6408	24.1
12	健康	13176	49.6	49	第一印象	6235	23.5
13	学習力・成長力	12920	48.6	50	機械に強いこと	6044	22.7
14	気配り	12865	48.4	51	生活規律	5736	21.6
15	ストレスに強いこと	12341	46.4	52	人脈	5652	21.3
16	観察力	12322	46.3	53	クリエイティブ・独創性	5363	20.2
17	対人能力	11872	44.7	54	論理的分析力	5303	19.9
18	体力	11798	44.4	55	数的処理能力(数学・統計学等)	5236	19.7
19	実行力	11756	44.2	56	企画力	5206	19.6
20	柔軟性	11636	43.8	57	調査研究能力	5188	19.5
21	協調性・チームワーク	11541	43.4	58	手先の器用さ	5097	19.2
22	計画性	11486	43.2	59	販売の知識・経験	5069	19.1
23	思いやり・感受性	11058	41.6	60	健康・医療・ケアの知識・経験	4586	17.2
24	人当たりの良さ	10634	40.0	61	法律の知識・経験	4295	16.2
25	マナー	10350	38.9	62	科学や技術の知識・経験	3692	13.9
26	段取りできること	10147	38.2	63	社会や経済の知識・経験	3665	13.8
27	決断力	10070	37.9	64	産業やビジネスの知識・経験	3619	13.6
28	社交性	9877	37.2	65	セキュリティの知識・経験	3337	12.6
29	身だしなみ	9877	37.2	66	国際感覚	2820	10.6
30	精神的な安定性	9847	37.0	67	文化や芸術的な知識・経験	2609	9.8
31	社会常識	9713	36.5	68	経理の知識・経験	2511	9.4
32	清潔感	9280	34.9	69	建築・土木の知識・経験	2393	9.0
33	説明力	8893	33.4	70	資金力	2158	8.1
34	コンピュータスキル	8854	33.3	71	人事労務の知識・経験	1954	7.3
35	応用力	8791	33.1	72	保安警備の知識・経験	1031	3.9
36	スタミナ	8500	32.0	73	その他(現在特に必要なもの)	649	2.4
37	情報収集能力	8382	31.5				

図表6-2 最近（ここ5年程度）重要になっている能力等

(複数回答、全体で多いもの順、n=26586)

		n	%		n	%	
1	ミスがないこと	7159	26.9	42	説得力	2621	9.9
2	意欲・やる気	6638	25.0	43	人間的な魅力	2428	9.1
3	コミュニケーション能力	6311	23.7	44	清潔感	2416	9.1
4	責任感	5888	22.1	45	人に好かれること	2288	8.6
5	学習力・成長力	5399	20.3	46	機械に強いこと	2286	8.6
6	ストレスに強いこと	5325	20.0	47	健康・医療・ケアの知識・経験	2230	8.4
7	積極性・主体性	5154	19.4	48	団体規律	2168	8.2
8	健康	4986	18.8	49	販売の知識・経験	2142	8.1
9	コンピュータスキル	4839	18.2	50	企画力	2117	8.0
10	前向きな姿勢	4502	16.9	51	人脈	2095	7.9
11	対人能力	4438	16.7	52	クリエイティブ・独創性	2049	7.7
12	体力	4419	16.6	53	法律の知識・経験	1984	7.5
13	協調性・チームワーク	4225	15.9	54	感性・感覚	1923	7.2
14	集中力	4096	15.4	55	数的処理能力(数学・統計等)	1860	7.0
15	注意深さ	4058	15.3	56	素直さ	1789	6.7
16	気配り	3809	14.3	57	論理的分析力	1744	6.6
17	信頼できること	3705	13.9	58	セキュリティの知識・経験	1741	6.5
18	粘り強さ	3658	13.8	59	第一印象	1697	6.4
19	実行力	3640	13.7	60	調査研究能力	1640	6.2
20	計画性	3571	13.4	61	国際感覚	1635	6.1
21	思いやり・感受性	3369	12.7	62	手先の器用さ	1557	5.9
22	マナー	3345	12.6	63	生活規律	1543	5.8
23	説明力	3311	12.5	64	産業やビジネスの知識・経験	1401	5.3
24	指導力・統率力・リーダーシップ	3292	12.4	65	科学や技術の知識・経験	1344	5.1
25	観察力	3280	12.3	66	社会や経済の知識・経験	1334	5.0
26	段取りできること	3264	12.3	67	建築・土木の知識・経験	1241	4.7
27	社会常識	3171	11.9	68	資金力	1145	4.3
28	精神的な安定性	3149	11.8	69	経理の知識・経験	1082	4.1
29	柔軟性	3089	11.6	70	文化や芸術的な知識・経験	936	3.5
30	情報収集能力	3089	11.6	71	人事労務の知識・経験	912	3.4
31	熱心さ	3082	11.6	72	保安警備の知識・経験	597	2.2
32	応用力	3031	11.4	73	その他	468	1.8
33	顧客目線・相手の立場から考えられること	3018	11.4	74	特になし	3559	13.4
34	交渉力	3011	11.3				
35	人当たりの良さ	2942	11.1				
36	決断力	2941	11.1				
37	先見性	2842	10.7				
38	身だしなみ	2836	10.7				
39	管理能力・マネジメント能力(人や組織)	2814	10.6				
40	社交性	2727	10.3				
41	スタミナ	2671	10.0				

3. 業種別と職種別の必要な能力等

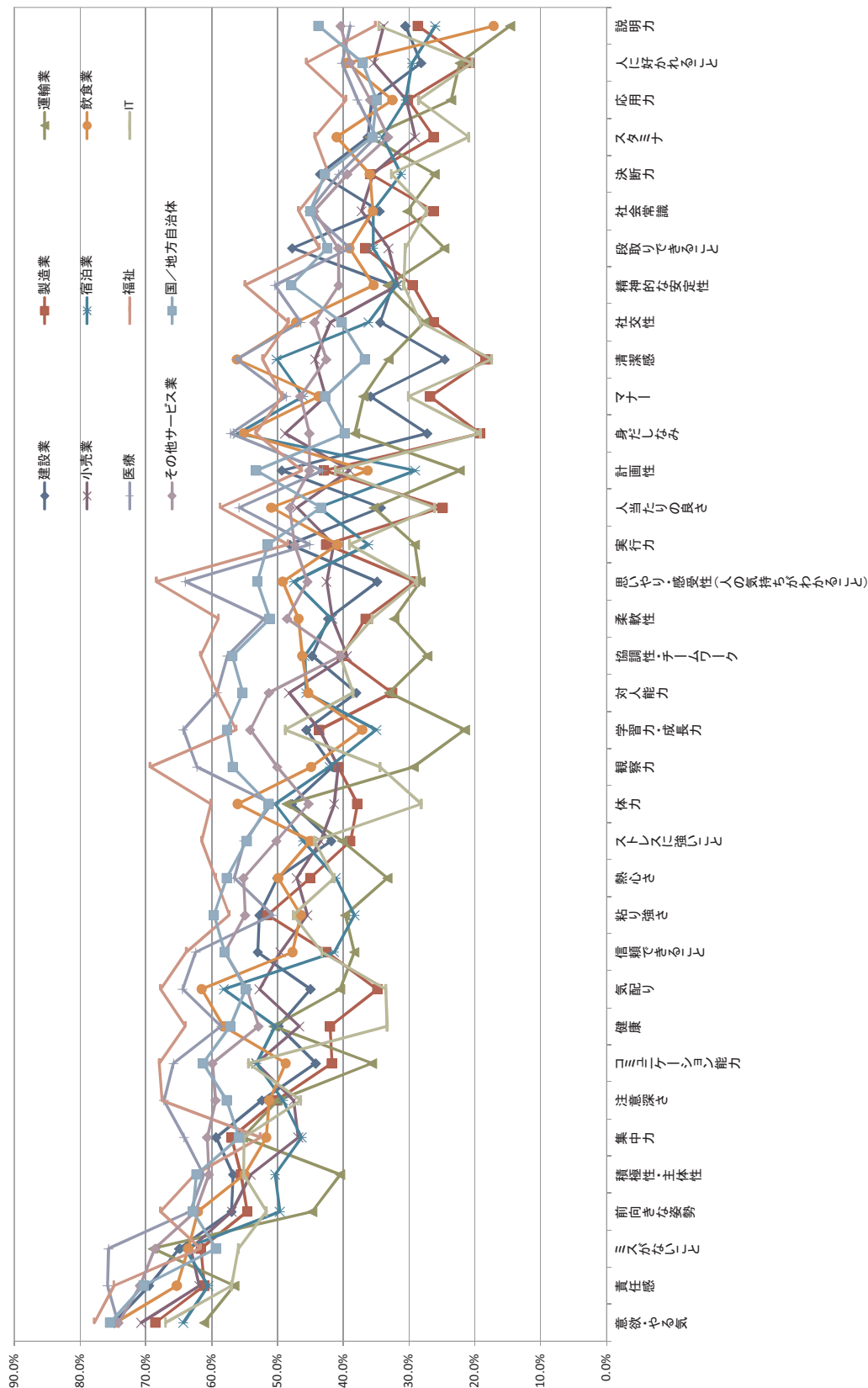
必要な能力等について、業種別に回答を集計し、パーセントを求めたのが図表 6-3、図表 6-4 である。業種によって、項目ごとにかんがりのばらつきがあることがわかる。いくつか特徴のあるところを見ていくと、「注意深さ」や「コミュニケーション能力」、「気配り」、「観察力」、「協調性・チームワーク」、「思いやり・感受性」、「人当たりの良さ」、「精神的な安定性」などは特に福祉や医療で高くなっている。また、「コンピュータスキル」は IT が圧倒的に高い。国や地方自治体では「指導力・統率力・リーダーシップ」のほかに「団体規律」や「生活規律」が高くなっている。当然ではあるが、「健康・医療・ケアの知識・経験」は医療や福祉で、「販売の知識・経験」は小売業で、「セキュリティの知識・経験」は IT で、「建築・土木の知識・経験」は建設業でそれぞれ高くなっている。また、運輸業では全体的に低くなっているのが特徴といえるだろう。

同様に、最近（ここ 5 年程度）重要になっている能力等を業種別に見ると（図表 6-5、図表 6-6）、運輸業では「ミスがないこと」が高いが、「コミュニケーション能力」や「学習力・成長力」、「協調性・チームワーク」、「計画性」、「指導力・統率力・リーダーシップ」、「情報収集能力」などはほかと比べて特に低くなっている。福祉では「コミュニケーション能力」、「協調性・チームワーク」、「思いやり・感受性」、「観察力」、「精神的な安定性」などが高くなっている。国／地方自治体では「ストレスに強いこと」、「コンピュータスキル」が高く、「集中力」が低い。宿泊業では「気配り」や「顧客目線・相手の立場から考えられること」が高く、飲食業では「身だしなみ」や「社交性」、「清潔感」が高い。知識・経験も上に記したのと同様の傾向が見られる。

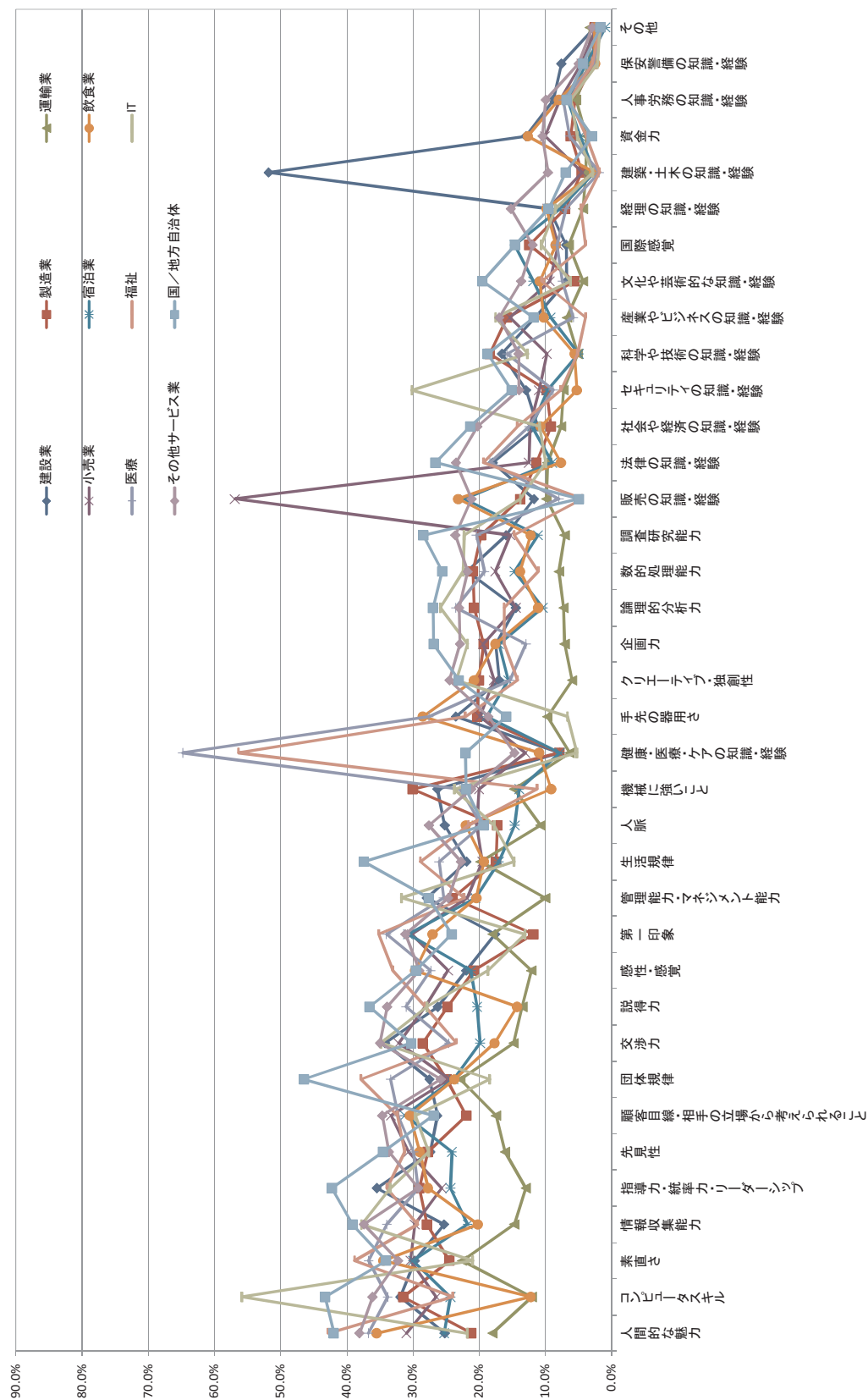
これらを職種（厚生労働省編職業分類の職業大分類）別に集計したものが図表 6-7、図表 6-8 である。専門的職業では全般的に高くなっており、中でも「信頼できること」、「熱心さ」、「コミュニケーション能力」、「観察力」、「ストレスに強いこと」、「学習力・成長力」、「感性・感覚」、「健康・医療・ケアの知識・経験」などが高くなっている。サービスの職業では「身だしなみ」や「清潔感」が高く、研究者、技術者は「コンピュータスキル」が高い。また、図表 6-3 と同じような傾向として、「販売の知識・経験」は販売の職業が、「建築・土木の知識」は建設・採掘の職業が高くなっている。事務の職業では「体力」や「スタミナ」が低くなっているが、農林漁業の職業ではこれらが高くなっており、「コミュニケーション能力」や「身だしなみ」、「清潔感」などは低い。また、「ミスがないこと」は全体的に高いが、農林漁業の職業でのみ 50 パーセントを下回っている。輸送・機械運転の職業や運搬・清掃・包装の職業では全体的に低くなっているといった特徴が見られる。

職種別に最近（ここ 5 年程度）重要になっている能力等をみると（図表 6-9、図表 6-10）、農林漁業の職業で「意欲・やる気」、「決断力」、「先見性」が特に高くなっている。専門的職業で「コンピュータスキル」、サービスの職業で「気配り」、研究者、技術者で「指導力・統率力・リーダーシップ」が高くなっている。

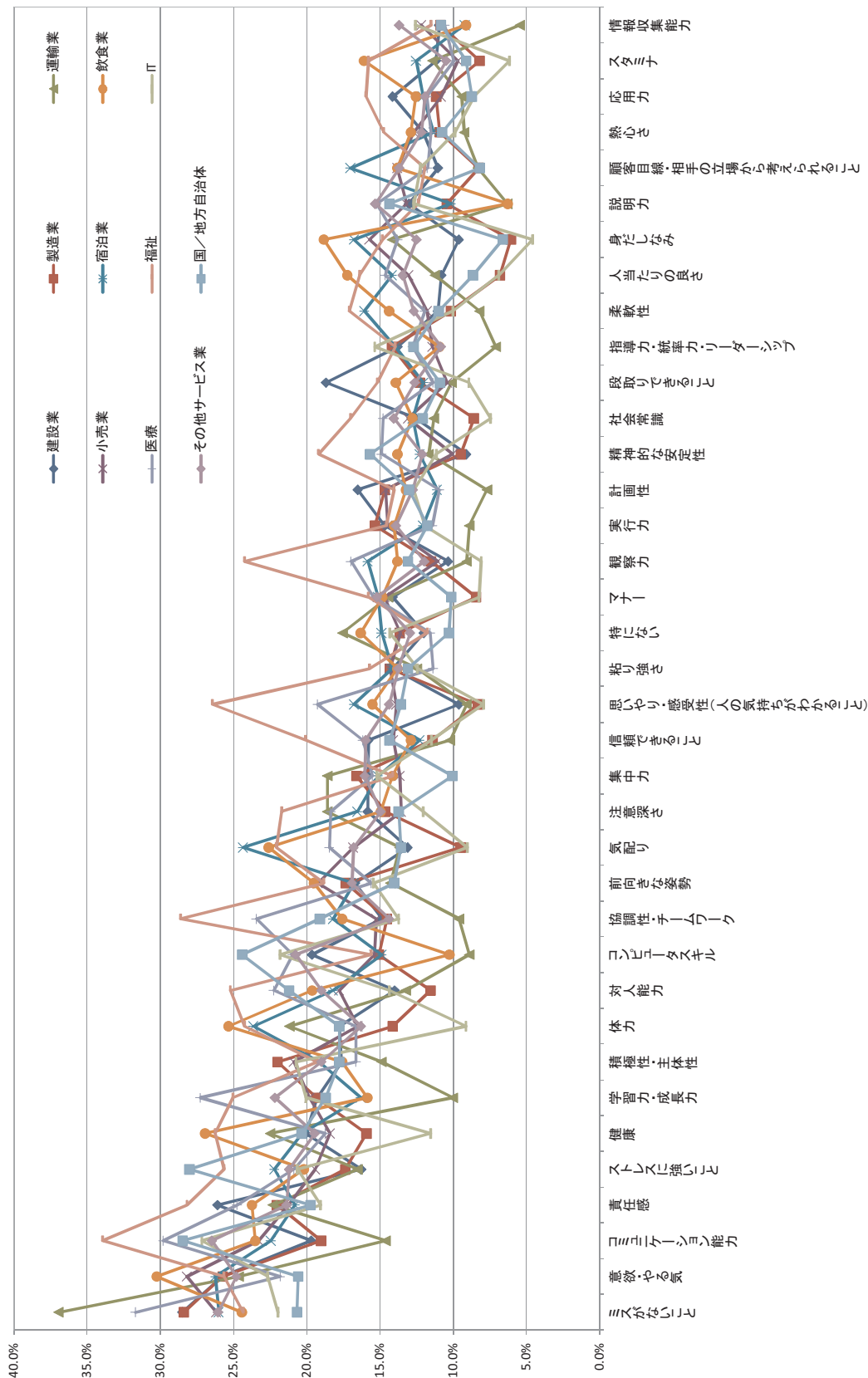
図表6-3 業種別の必要な能力等（パーセントの合計が多いもの順、前半36項目）



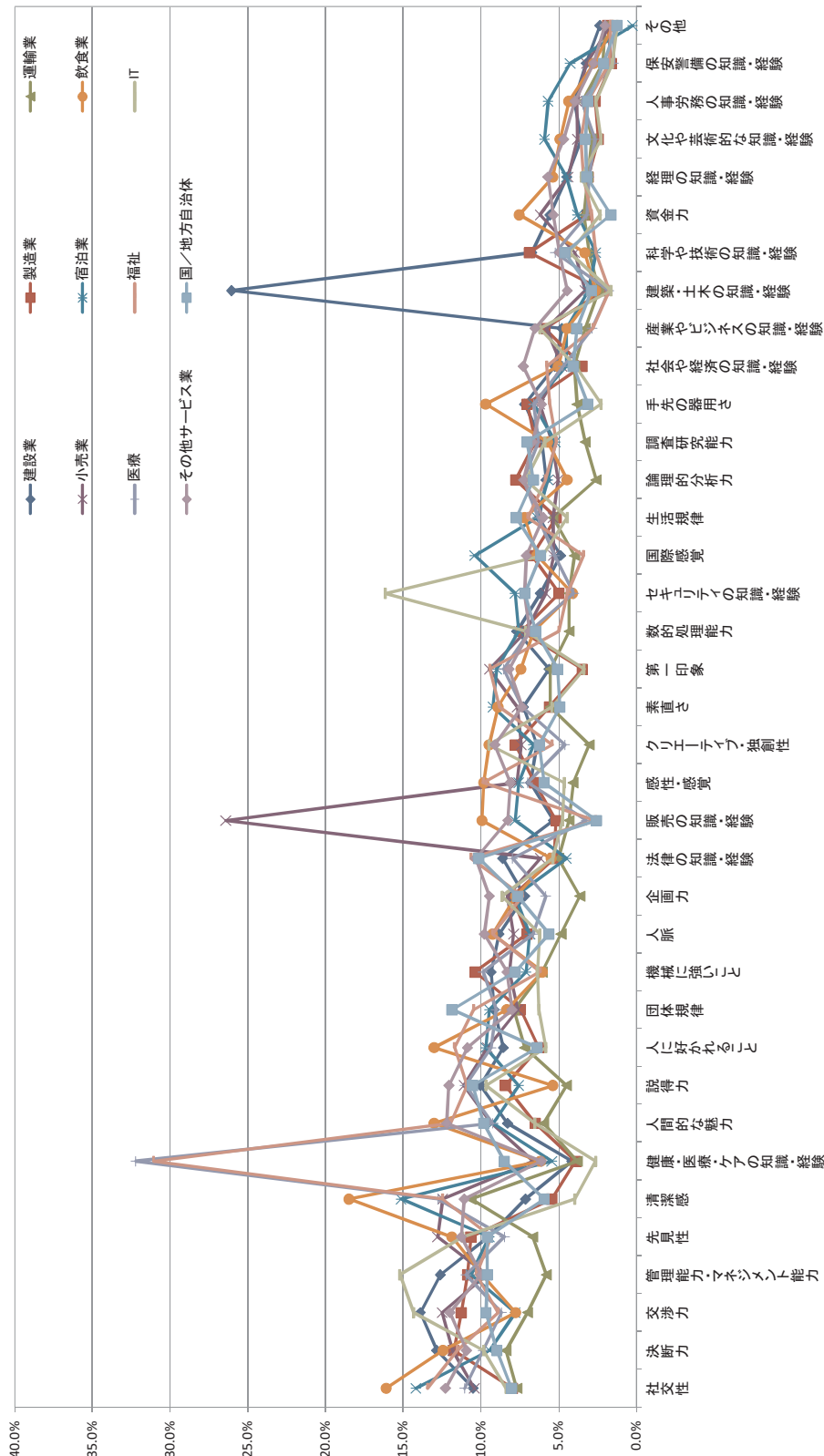
図表6-4 業種別の必要な能力等（パーセントの合計が多いもの順、後半37項目）



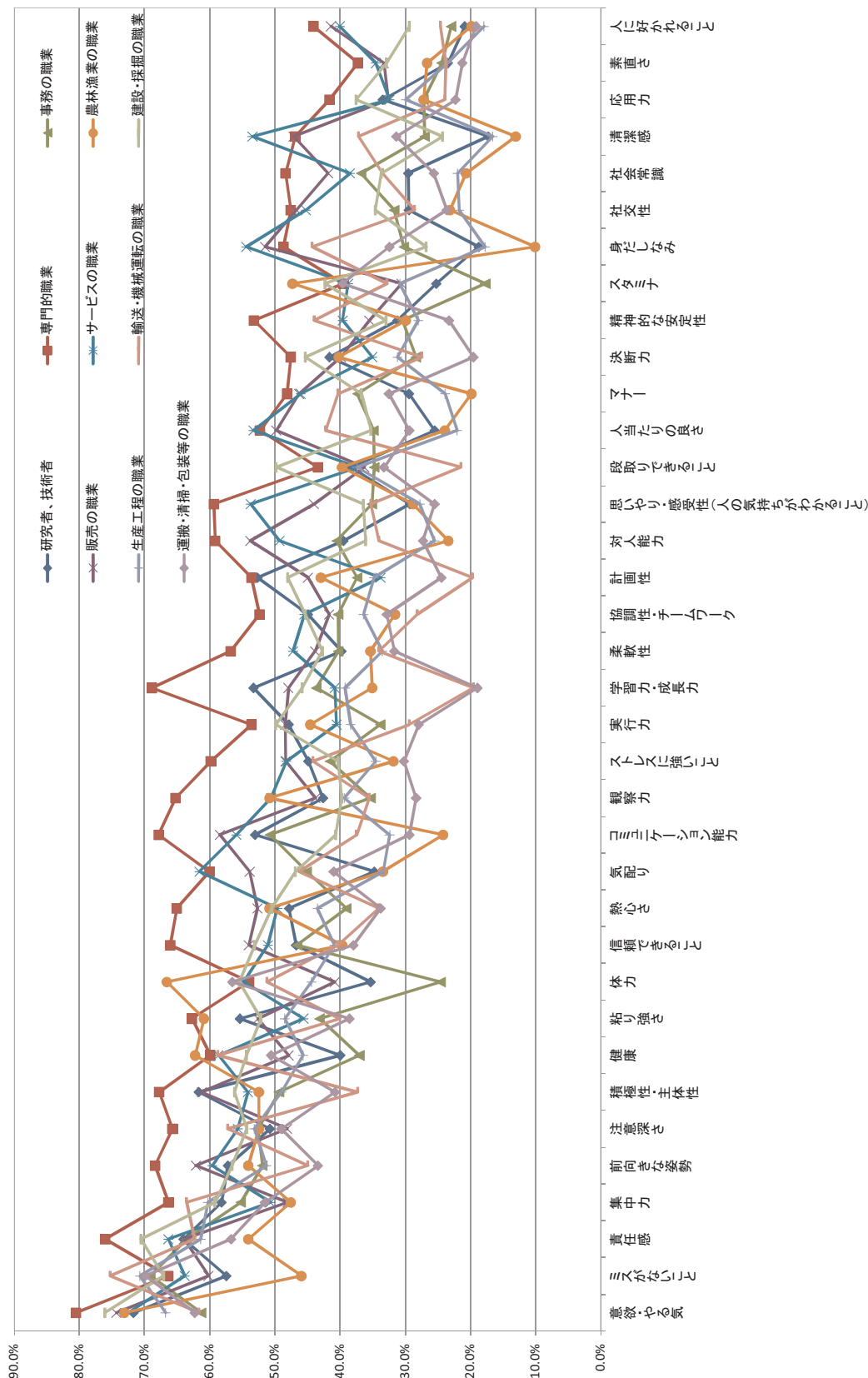
図表6-5 業種別の最近（ここ5年程度）重要になってきている能力等（パーセントの合計が多いもの順、前半37項目）



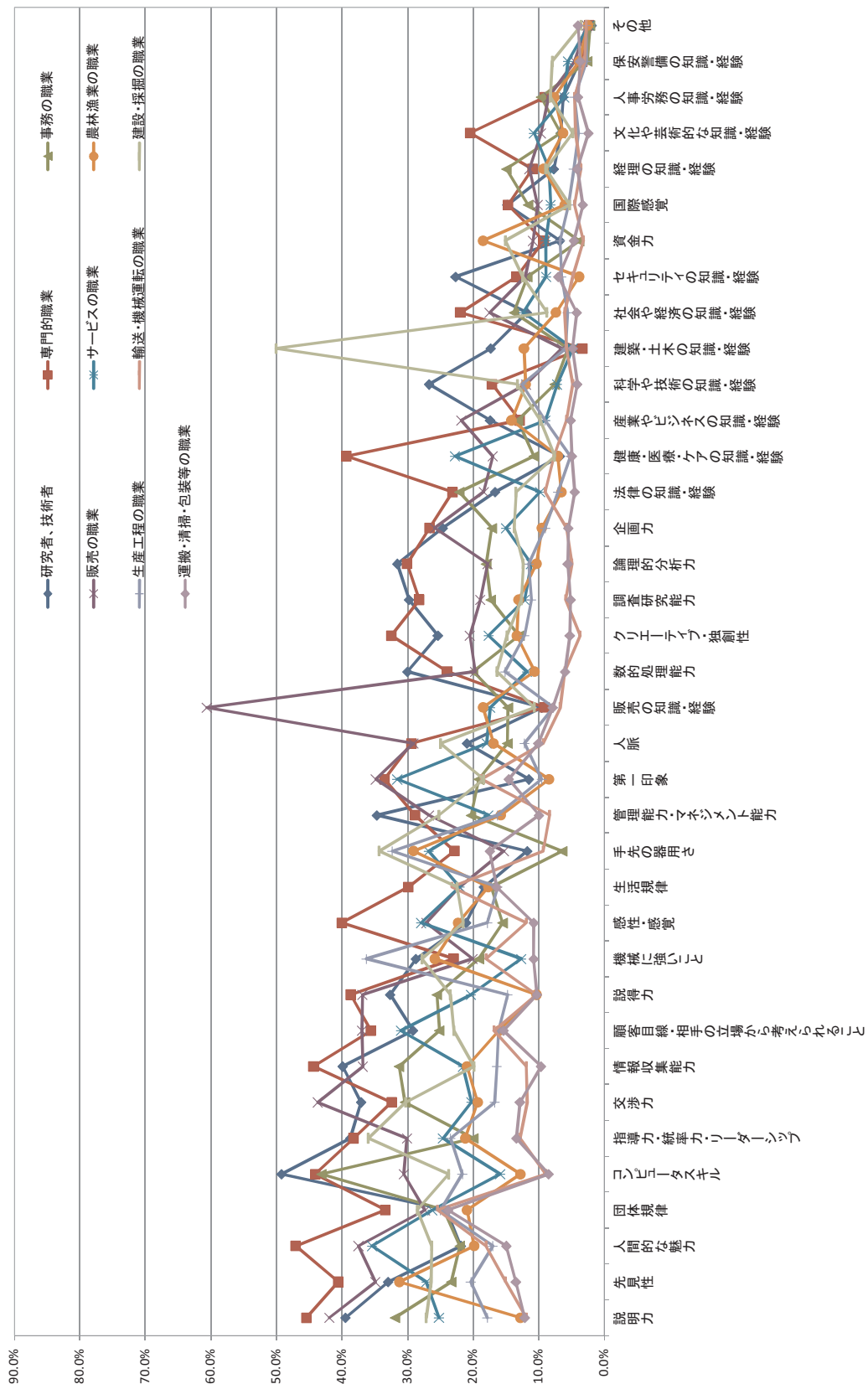
図表6-6 業種別の最近（ここ5年程度）重要になってきている能力等（パーセントの合計が多いもの順、後半37項目）



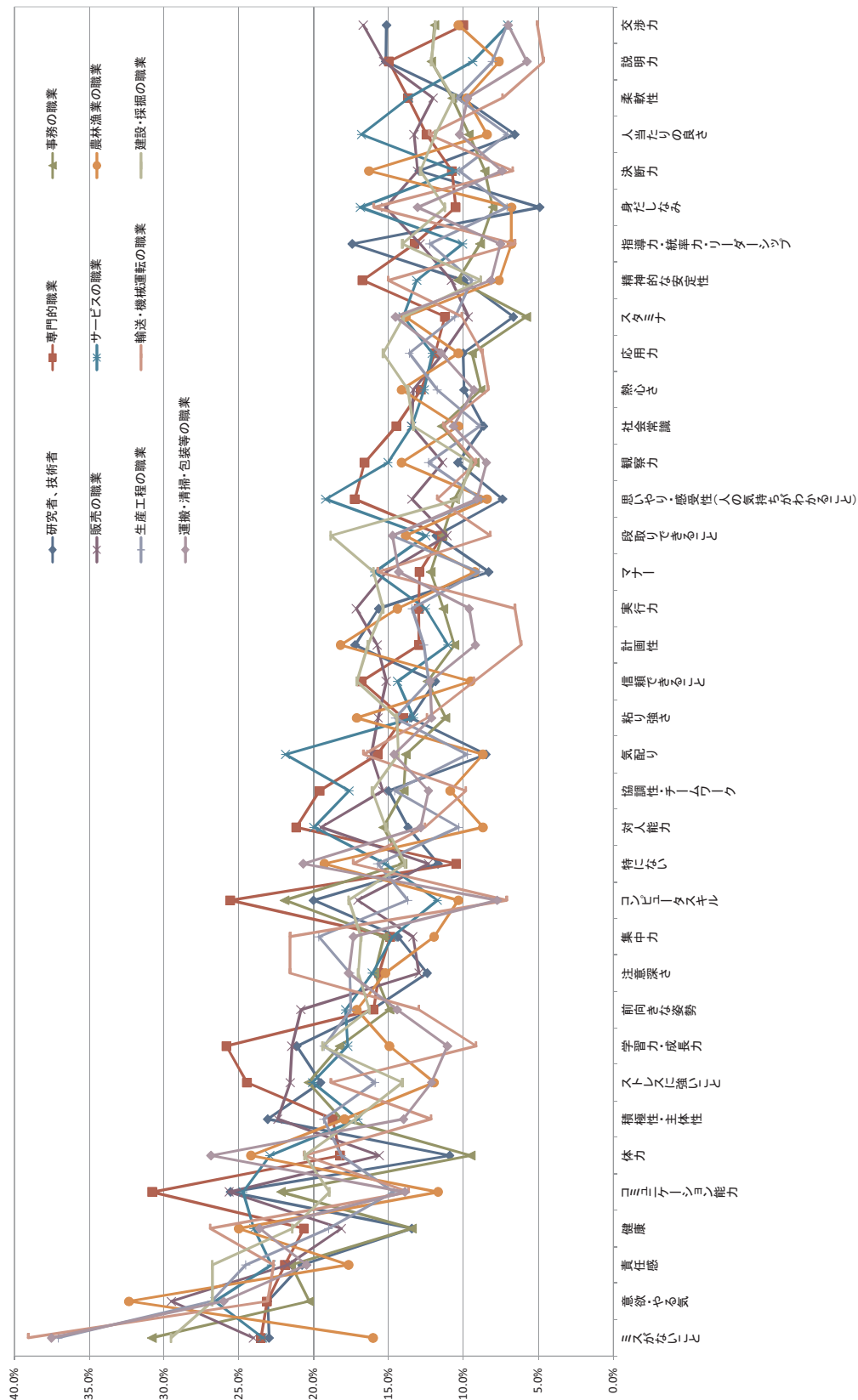
図表6-7 職種別の必要な能力等（パーセントの合計が多いもの順、前半36項目）



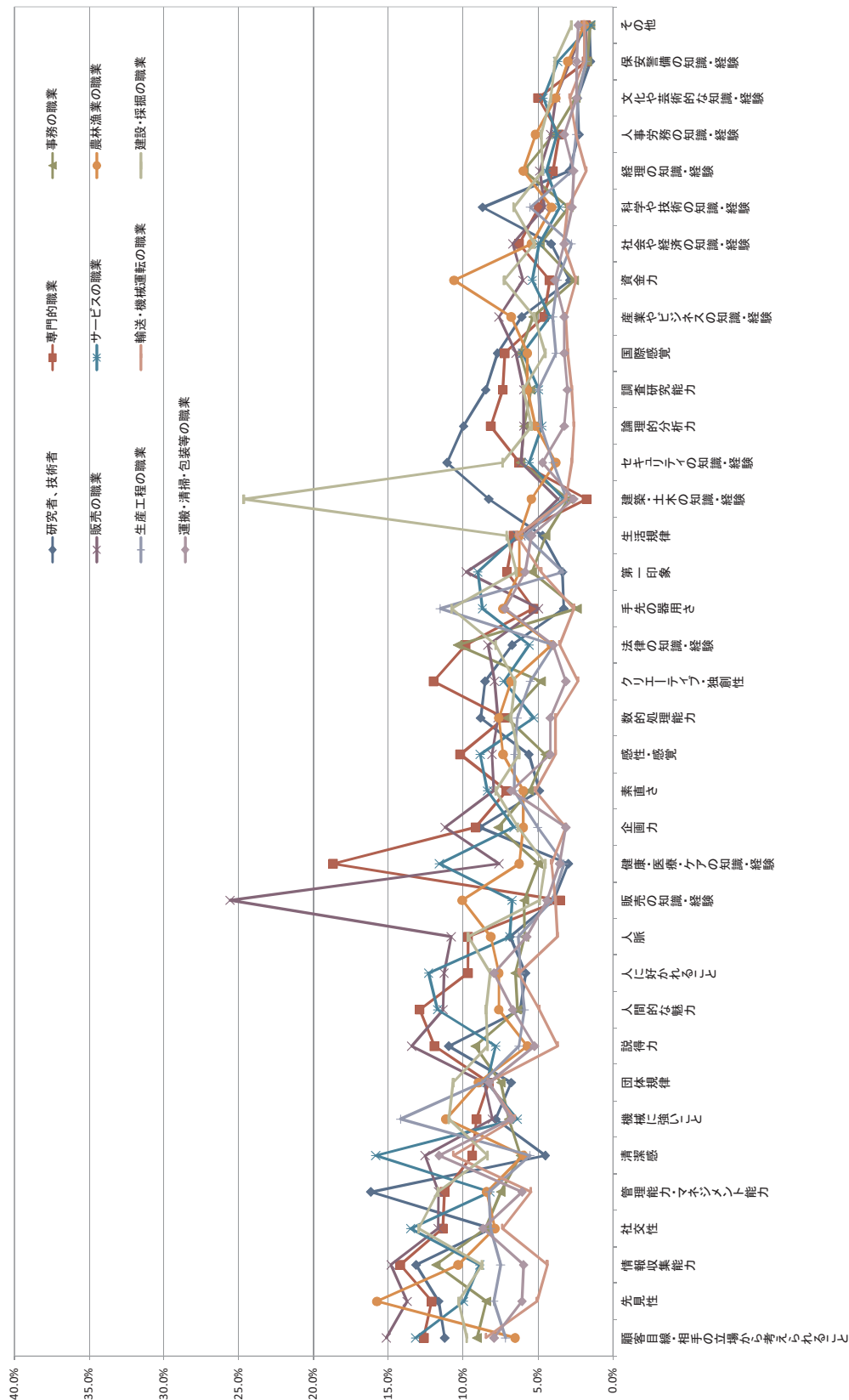
図表6-8 職種別の必要な能力等（パーセントの順、後半 37 項目）



図表6-9 職種別の最近（ここ5年程度）重要になっている能力等（パーセントの合計が多いもの順、前半37項目）



図表6-10 職種別の最近（ここ5年程度）重要になっている能力等（パーセントの合計が多いもの順、後半37項目）



4. 主成分分析、因子分析による必要な能力等の検討

(1) 主成分分析と因子分析による検討

現在の職業に必要な能力等について、多様な項目の中からいくつかのまとまりを見出すために、主成分分析、因子分析を行った。ただし、項目により選択率の差が激しいため、分析の対象としたのは、選択率が30パーセント以上の上位41項目とした。

まず、図表6-11は、現在の職業に必要な行動や能力の上位41項目を主成分分析し、解釈を行いやすくするためにバリマックス回転を行ったものである。通常2件法のようなデータ(2値データ)に対し、主成分分析は用いないのが通説だが、石田(2008)は、主成分分析について「どのような種類の変数にも適用できる、制約のない解析手法」としている。また、主成分分析では回転についても行わないとされることもあるが、成分の解釈を容易にするものとして使われていることを示す文献も多いため(たとえば上田,2003;丸山ら,2009)、そのような場合に最も用いられるバリマックス回転を行った。また、下村(2001)では実際に経済学分野の研究においてこのような分析方法が用いられている。以上により、本調査においても2値データに対し主成分分析、バリマックス回転を用いた。

第1成分としては、「身だしなみ」や「清潔感」、「マナー」などに高い負荷量を示し、「マナー・コミュニケーション」に関する成分とした。第2成分は、「情報収集能力」や「コンピュータスキル」、「交渉力」、「説明力」に対して負荷量が高く、「情報スキル・交渉力・説明力」に関する成分と解釈した。第3成分は「人に好かれること」、「人間的な魅力」等に負荷量が高く、「人間的な魅力」に関する成分とした。第4成分は「意欲・やる気」、「積極性・主体性」、「前向きな姿勢」、「熱心さ」等に負荷量が高く、「意欲・主体性・熱心さ」に関する成分とした。第5成分は、「ミスがないこと」、「注意深さ」、「集中力」等に高い負荷量を示し、「ミスがないこと・集中力」に関する成分とした。第6成分は「体力」、「スタミナ」、「健康」に負荷量が高く、そのまま「体力・スタミナ・健康」に関する成分とした。

なお、参考までに主因子法、プロマックス回転で因子分析を行った結果が図表6-12である。因子分析によっても、主成分分析の成分とほぼ類似の因子が取り出された。具体的には、第1因子が第2成分に、第2因子が第1成分に、第3因子は第4成分に、第4因子は第5成分に、第5因子は第3成分に、第6因子は第6成分にそれぞれ類似している。因子間の相関はそれぞれかなり高い値を示していることがわかる。二つの結果を比べ、主成分分析の方が項目をバランスよく分けていると考えたため、以後は主成分分析の結果を元に見ていくこととする。

図表6-11 必要な能力の主成分分析（主成分抽出、直交回転）

	成分1	成分2	成分3	成分4	成分5	成分6
身だしなみ	0.752	0.106	0.141	0.134	0.132	0.220
清潔感	0.743	0.108	0.164	0.136	0.138	0.240
マナー	0.623	0.283	0.097	0.092	0.149	0.248
人当たりの良さ	0.584	0.099	0.531	0.126	0.168	0.057
社会常識	0.568	0.359	0.095	0.121	0.166	0.250
対人能力	0.548	0.385	0.234	0.196	0.151	0.094
コミュニケーション能力	0.508	0.418	0.180	0.231	0.177	0.067
気配り	0.493	0.147	0.405	0.182	0.350	0.142
情報収集能力	0.178	0.687	0.212	0.133	0.110	0.118
コンピュータスキル	0.100	0.652	-0.030	0.072	0.228	-0.064
交渉力	0.207	0.639	0.253	0.161	0.025	0.085
説明力	0.300	0.616	0.233	0.152	0.102	0.104
応用力	0.243	0.509	0.228	0.112	0.193	0.312
学習力・成長力	0.251	0.500	0.111	0.290	0.251	0.098
計画性	0.047	0.494	0.383	0.306	0.238	0.191
段取りできること	0.245	0.477	0.153	0.100	0.250	0.338
人に好かれること	0.470	0.133	0.644	0.156	0.074	0.067
人間的な魅力	0.400	0.208	0.643	0.197	0.062	0.103
先見性	0.030	0.456	0.543	0.223	0.123	0.181
精神的な安定性	0.195	0.171	0.524	0.190	0.361	0.219
社交性	0.488	0.224	0.510	0.168	0.110	0.067
決断力	0.020	0.425	0.510	0.295	0.198	0.242
思いやり・感受性(人の気持ちがわかること)	0.465	0.146	0.476	0.212	0.298	0.150
ストレスに強いこと	0.177	0.217	0.453	0.147	0.339	0.238
実行力	0.083	0.423	0.434	0.368	0.208	0.252
柔軟性	0.295	0.284	0.429	0.232	0.354	0.199
意欲・やる気	0.157	0.095	0.081	0.767	0.073	0.117
積極性・主体性	0.168	0.250	0.202	0.722	0.160	0.087
前向きな姿勢	0.224	0.175	0.205	0.716	0.232	0.105
熱心さ	0.185	0.192	0.292	0.636	0.286	0.141
粘り強さ	0.050	0.250	0.291	0.485	0.345	0.200
ミスがないこと	0.194	0.128	0.062	0.033	0.735	0.112
注意深さ	0.179	0.197	0.249	0.207	0.674	0.169
集中力	0.043	0.219	0.150	0.335	0.595	0.169
責任感	0.245	0.198	0.103	0.395	0.551	0.106
信頼できること	0.285	0.218	0.312	0.367	0.454	0.067
観察力	0.179	0.246	0.409	0.300	0.443	0.156
協調性・チームワーク	0.280	0.246	0.310	0.216	0.338	0.180
体力	0.248	0.090	0.138	0.153	0.159	0.782
スタミナ	0.220	0.157	0.226	0.123	0.137	0.727
健康	0.344	0.152	0.113	0.189	0.214	0.684
負荷量平方和	5.023	4.677	4.520	3.913	3.707	2.746
分散の%	12.3	11.4	11.0	9.5	9.0	6.7
累積%	12.3	23.7	34.7	44.2	53.3	60.0

図表6-12 必要な能力の因子分析（主因子抽出、斜交回転）

	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6
情報収集能力	0.846	0.053	-0.057	-0.065	-0.051	-0.047
交渉力	0.764	0.068	0.010	-0.192	0.062	-0.054
説明力	0.724	0.160	-0.026	-0.083	0.028	-0.064
コンピュータスキル	0.694	0.034	-0.044	0.119	-0.214	-0.146
応用力	0.533	0.097	-0.094	0.075	-0.006	0.146
計画性	0.510	-0.148	0.110	0.112	0.115	0.031
学習力・成長力	0.481	0.121	0.140	0.134	-0.112	-0.044
段取りできること	0.475	0.117	-0.094	0.157	-0.094	0.174
先見性	0.475	-0.202	0.019	-0.044	0.383	0.043
決断力	0.411	-0.226	0.084	0.050	0.307	0.103
実行力	0.389	-0.148	0.192	0.038	0.206	0.113
コミュニケーション能力	0.381	0.351	0.097	0.010	0.060	-0.076
身だしなみ	-0.079	0.698	0.068	-0.008	0.114	0.074
清潔感	-0.086	0.680	0.060	-0.002	0.137	0.096
マナー	0.217	0.514	-0.044	0.040	-0.005	0.089
社会常識	0.322	0.457	-0.029	0.049	-0.054	0.083
対人能力	0.337	0.380	0.054	-0.027	0.153	-0.053
前向きな姿勢	-0.062	0.086	0.834	0.005	-0.013	-0.020
積極性・主体性	0.091	0.030	0.827	-0.108	-0.024	-0.030
意欲・やる気	-0.084	0.048	0.809	-0.119	-0.060	0.050
熱心さ	-0.039	-0.001	0.638	0.128	0.094	0.006
粘り強さ	0.099	-0.123	0.365	0.270	0.041	0.068
注意深さ	-0.025	-0.007	-0.089	0.918	-0.037	-0.031
ミスがないこと	-0.042	0.078	-0.143	0.823	-0.147	-0.016
集中力	0.051	-0.090	0.155	0.674	-0.159	0.016
責任感	0.003	0.111	0.248	0.603	-0.164	-0.054
観察力	0.076	-0.045	0.067	0.481	0.213	-0.020
信頼できること	0.024	0.087	0.193	0.464	0.137	-0.110
柔軟性	0.137	0.056	-0.003	0.313	0.293	0.034
協調性・チームワーク	0.120	0.093	0.044	0.275	0.158	0.045
人に好かれること	-0.088	0.143	-0.018	-0.181	0.944	-0.036
人間的な魅力	0.040	0.078	0.021	-0.200	0.848	-0.005
人当たりの良さ	-0.147	0.313	-0.058	0.016	0.758	-0.078
社交性	0.089	0.228	0.008	-0.086	0.608	-0.057
思いやり・感受性(人の気持ちがわかること)	-0.083	0.210	0.004	0.238	0.489	-0.003
精神的な安定性	-0.007	-0.053	-0.022	0.318	0.418	0.087
気配り	-0.076	0.262	-0.031	0.327	0.385	-0.020
ストレスに強いこと	0.087	-0.032	-0.040	0.271	0.304	0.114
体力	-0.132	0.069	0.027	-0.053	-0.054	0.924
スタミナ	0.004	0.038	-0.033	-0.049	0.067	0.730
健康	-0.044	0.193	0.055	0.047	-0.109	0.710
負荷量平方和	13.671	8.638	11.919	13.819	14.008	10.419
因子相関行列						
因子2	0.492					
因子3	0.705	0.391				
因子4	0.752	0.507	0.771			
因子5	0.759	0.577	0.707	0.764		
因子6	0.643	0.516	0.570	0.688	0.644	

(2) 抽出された要素からみた業界や職業

検討してきた主要な要素（成分）である「マナー・コミュニケーション」、「情報スキル・交渉力・説明力」、「人間的魅力」、「意欲・主体性・熱心さ」、「ミスがないこと・集中力」、「体力・スタミナ・健康」の成分得点を求め、業種別に平均値を求めたのが図表 6-13 である。成分得点は全体の平均値が 0 になるため、各業種の平均値は他の業種と相対的に比較して得点が高いかどうかを示したものである。

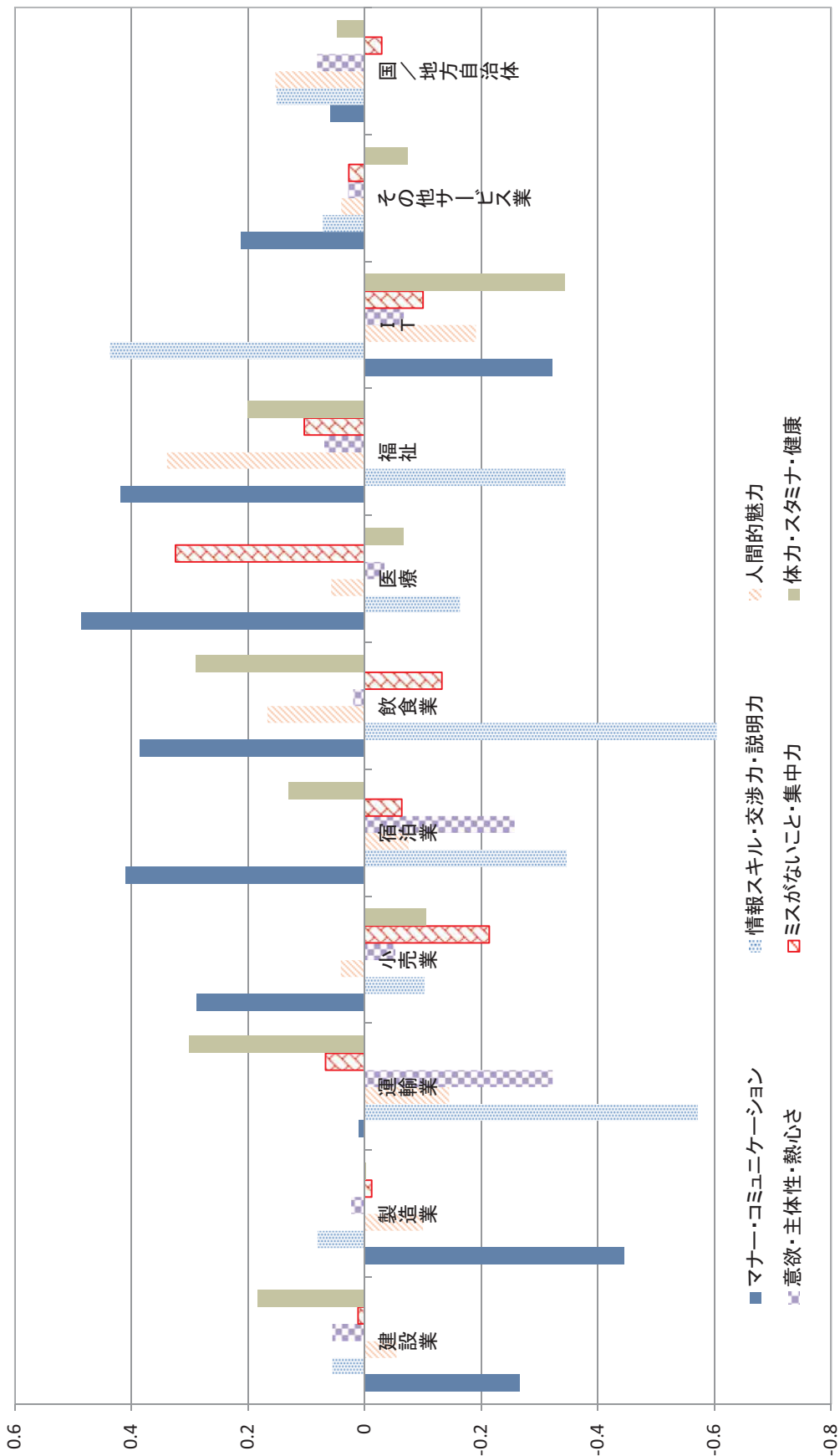
特徴のあるところを見ると、運輸業では「情報スキル・交渉力・説明力」が低く、「体力・スタミナ・健康」が高い。宿泊業、飲食業では「マナー・コミュニケーション」が高く、「情報スキル・交渉力・説明力」が低くなっている。医療では「マナー・コミュニケーション」、「ミスがないこと・集中力」が高い。福祉では「マナー・コミュニケーション」、「人間的魅力」が高く、「情報スキル・交渉力・説明力」が低い。IT では「情報スキル・交渉力・説明力」が高く、「マナー・コミュニケーション」、「体力・スタミナ・健康」が低くなっている。

同様に 6 つの成分得点を職種別に集計し平均値を求めたのが図表 6-14 である。これを見ると、研究者、技術者では「情報スキル・交渉力・説明力」が高く、「マナー・コミュニケーション」は低くなっている。事務の職業は「体力・スタミナ・健康」が低い。販売の職業では「マナー・コミュニケーション」が高く、「ミスがないこと・集中力」が低くなっている。サービスの職業では「マナー・コミュニケーション」が高く、「情報スキル・交渉力・説明力」が低い。農林漁業の職業では「体力・スタミナ・健康」が高いが「マナー・コミュニケーション」は低くなっている。生産工程の職業では「マナー・コミュニケーション」が低い。輸送・機械運転の職業では「ミスがないこと・集中力」、「体力・スタミナ・健康」が高く、「情報スキル・交渉力・説明力」が低い。建設・採掘の職業では「体力・スタミナ・健康」が高く、運搬・清掃・包装等の職業では「体力・スタミナ・健康」が高いが「情報スキル・交渉力・説明力」は低くなっているといった特徴がある。

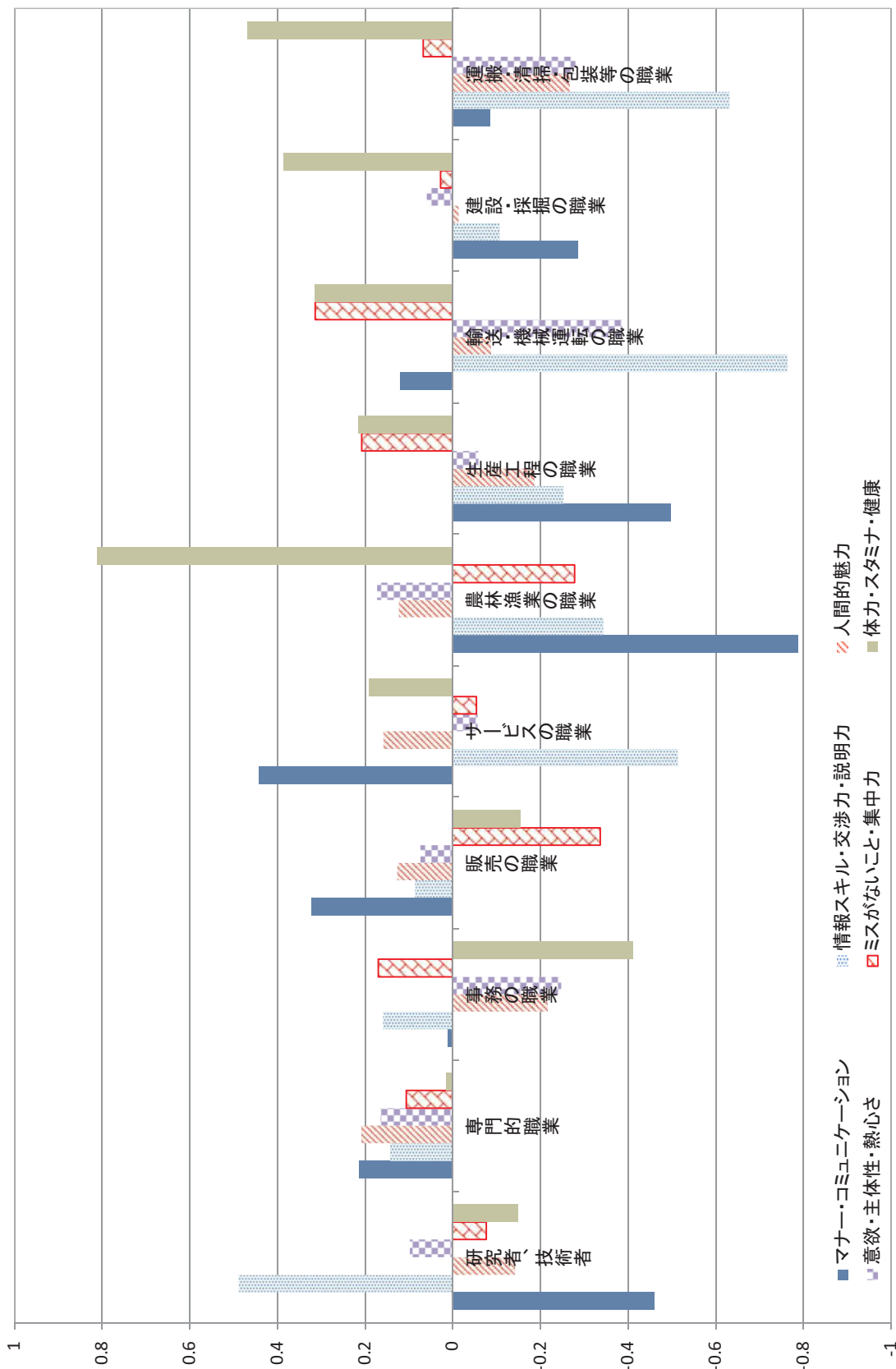
細かい具体的な職業（職業細分類）で見ると、「マナー・コミュニケーション」は「ウェ이터・ウェイトレス（飲食店ホール係）」、「コンビニエンスストア店員」、「医療事務員（医療機関、調剤薬局）」、「受付係（会社・団体受付を除く。図書館カウンター受付、自動車整備工場フロント、ショールーム受付、銀行店頭案内など）」、「秘書」などで高い。「情報スキル・交渉力・説明力」は「経営コンサルタント（中小企業診断士など）」、「土木技術者（設計業務）」、「グラフィックデザイナー（広告、ポスター、包装紙などのデザイン）」、「システム運用管理者（システム・ネットワークの運用・維持・セキュリティ・管理・保守、テクニカルサポートなど）」、「大学教員」などで高くなっている。「人間的魅力」では「幼稚園教員」、「保育士」、「美容師」、「小学校教員」、「医療ソーシャルワーカー（MSW、PSW）」などが高い。「意欲・主体性・熱心さ」では「音楽家（作曲家、指揮者、演奏家、声楽家など）」、「小学校教員」、「住宅・不動産営業員（住宅・不動産

の売買・賃借、住宅リフォーム、用地仕入れなど）」、「大学教員」、「作業療法士」などが高い成分得点である。「ミスがないこと・集中力」では、「データ入力係員」、「薬剤師（調剤業務）」、「臨床検査技師（衛生検査技師を含む）」、「医療事務員（医療機関、調剤薬局）」、「パソコンオペレーター（パソコンによる文書作成、データ処理など）」などが高くなっている。「体力・スタミナ・健康」は「農耕従事者（稲作、畑作、園芸・工芸作物、ハウス野菜、キノコ栽培など）」、「保育士」、「西洋料理調理人」、「トラック運転手」、「荷物配達員（宅配便・バイク便・メール便などの配達業務）」などで高い。

図表6-13 主成分分析の成分からみた必要な能力（業種別）



図表6-14 主成分分析の成分からみた必要な能力（職種別）



5. 必要な能力等のまとめ

ここでは職業における必要な能力等とその変化についてみてきた。現在の職業に特に必要な行動や能力では、全体として、「意欲・やる気」、「責任感」、「ミスがないこと」、「前向きな姿勢」、「積極性・主体性」、「集中力」、「注意深さ」、「コミュニケーション能力」、「粘り強さ」、「信頼できること」がトップ10となり、50%を超える選択率である。また、最近（ここ5年程度）重要になっている行動や能力では、「ミスがないこと」が一番多く、「意欲・やる気」や「コミュニケーション能力」など、特に必要な行動や能力で選択率が高かった項目が選択されるのに加え、「学習力・成長力」、「ストレスに強いこと」や「コンピュータスキル」などの選択率が高くなっているという特徴がある。

業種別、職種別で見ると、かなりのばらつきがあり、その業種、職業がどのような行動や能力を必要としているのかという個別の実態が映し出された。

現在の職業に必要な行動、能力等の中で、全体の選択率が30%以上の41項目を主成分分析、因子分析で検討すると、「マナー・コミュニケーション」、「情報スキル・交渉力・説明力」、「人間的魅力」、「意欲・主体性・熱心さ」、「ミスがないこと・集中力」、「体力・スタミナ・健康」という6つの要素が抽出された。この要素（成分得点）から現在の職業に必要な能力等を業種別、職種別に見ると、必要な行動や能力を端的に示すものとなっていた。

文 献

石田秀人（2008）. 考える統計学 工学社

丸山欣哉・佐々木隆之・大橋智樹（2009）. 学生のための心理統計法要点 おうふう

下村直樹（2001）. 企業広告の内容分析によるテーマ類型化—製品広告との境界曖昧化 経済学研究（北海道大学）, 50(4), 69-82.

上田尚一（2003）. 主成分分析 朝倉書店